

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 外城田川水系外城田川 (二級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	外城田川水系外城田川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	三重県が管理する外城田川水系外城田川の堆積土砂掘削を行うもの。 施工箇所：伊勢市小俣町相合地内 【別図参照】			
実施予定期間	令和2年度～令和6年度 (5年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3)  ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書き て記載	令和2年度	800m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和3年度	2,000m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和4年度	2,000m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和5年度	2,700m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和6年度	1,500m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	計	9,000m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	10,000	10,000	0
	令和3年度	5,000	5,000	0
	令和4年度	15,300	15,300	0
	令和5年度	27,700	27,700	0
	令和6年度	13,000	13,000	0
	計	71,000	71,000	0
事業の必要性、 緊急性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外城田川水系外城田川は多気町から伊勢市に位置し流路延長8kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。</li> <li>・外城田川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。</li> <li>・令和元年度現在、河道内の土砂堆積量は12千m3であり、早期の流下能力 (断面) 確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。</li> <li>・令和6年現在の堆積量は約4.5千m3である。</li> </ul>			
浚渫目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度～令和6年度の5年間で、河川環境に配慮しつつ9千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標流下能力を確保する。</li> </ul>			
河道の状態把握	<p>外城田川では、都市部は西豊浜水位観測所 (伊勢市西豊浜町) において水位の常時観測が行われている。また、河川近傍の雨量観測所 (西豊浜) から水防活動や濁水調整のためのデータを得ることができる。河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理に繋げている。</p>			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予定事業量 (発生土砂量) については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。</li> <li>・掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。</li> </ul>			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 外城田川水系相合川 (二級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	外城田川水系相合川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	三重県が管理する外城田川水系相合川の堆積土砂掘削を行うもの。 施工箇所：伊勢市小俣町相合地内 【別図参照】			
実施予定期間	令和2年度～令和6年度 (5年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3) <small>※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書き て記載</small>	令和2年度	1,000m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和3年度	2,000m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和4年度	2,000m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和5年度	0m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和6年度	1,000m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	計	6,000m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	2,000	2,000	0
	令和3年度	10,000	10,000	0
	令和4年度	13,300	13,300	0
	令和5年度	10,000	10,000	0
	令和6年度	10,000	10,000	0
	計	45,300	45,300	0
事業の必要性、 緊急性	・外城田川水系相合川は玉城町から伊勢市に位置し流路延長4kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・相合川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和元年度現在、河道内の土砂堆積量は10千m3であり、早期の流下能力 (断面) 確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和6年現在の堆積量は約5.0千m3である。			
浚渫目標	・令和2年度～令和6年度の5年間で、河川環境に配慮しつつ6千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標流下能力を確保する。			
河道の状態把握	相合川では、都市部は西豊浜水位観測所 (伊勢市西豊浜町) において水位の常時観測が行われている。また、河川近傍の雨量観測所 (西豊浜) から水防活動や濁水調整のためのデータを得ることができる。河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 <small>※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載</small>	・予定事業量 (発生土砂量) については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 ・掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 外城田川水系有田川 (二級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	外城田川水系相合川支川有田川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	三重県が管理する外城田川水系有田川の堆積土砂掘削を行うもの。 施工箇所：伊勢市小俣町新村 他地内 【別図参照】			
実施予定期間	令和2年度～令和6年度 (5年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書き て記載	令和2年度	100m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和3年度	200m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和4年度	0m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和5年度	0m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和6年度	200m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	計	500m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	2,000	2,000	0
	令和3年度	5,000	5,000	0
	令和4年度	0	0	0
	令和5年度	0	0	0
	令和6年度	2,000	2,000	0
	計	9,000	9,000	0
事業の必要性、 緊急性	・外城田川水系相合川支川有田川は玉城町に位置し流路延長1kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・有田川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和元年度現在、河道内の土砂堆積量は5千m3であり、早期の流下能力 (断面) 確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和6年現在の堆積量は約4.7千m3である。			
浚渫目標	・令和2年度～令和6年度の5年間で、河川環境に配慮しつつ500m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標流下能力を確保する。			
河道の状態把握	相合川 (有田川) では、都市部は西豊浜水位観測所 (伊勢市西豊浜町) において水位の常時観測が行われている。また、河川近傍の雨量観測所 (西豊浜) から水防活動や治水調整のためのデータを得ることができる。河川管理施設の異常等の把握については、定期的1年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	・予定事業量 (発生土砂量) については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 ・掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 宮川水系宮川(一級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	宮川水系宮川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所(所在地))	三重県が管理する宮川水系宮川の堆積土砂掘削を行うもの。 施工箇所: 度会郡度会町大野木 他地内 【別図参照】			
実施予定期間	令和2年度～令和3年度(2年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位:m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書き て記載	令和2年度	200m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和3年度	10m3		
	令和4年度	0m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和5年度	0m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和6年度	0m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	計	210m3		
予定事業費 (単位:千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	2,000	2,000	0
	令和3年度	1,000	1,000	0
	令和4年度	0	0	0
	令和5年度	0	0	0
	令和6年度	0	0	0
	計	3,000	3,000	0
事業の必要性、 緊急性	・宮川水系宮川は大紀町から伊勢市に位置し流路延長37km(県管理区間)の一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・宮川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下(流下断面が阻害)されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和元年度現在、河道内の土砂堆積量は9千m3であり、早期の流下能力(断面)確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和6年現在の堆積量は約8.8千m3である。			
浚渫目標	・令和2年度～令和3年度の2年間で、河川環境に配慮しつつ210m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標流下能力を確保する。			
河道の状態把握	宮川では、鮑川水位観測所(度会町鮑川)において水位の常時観測が行われている。また、河川近傍の雨量観測所(川口)から水防活動や濁水調整のためのデータを得ることができる。河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	・予定事業量(発生土砂量)については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 ・掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 宮川水系五十鈴川 (一級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	宮川水系五十鈴川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	三重県が管理する宮川水系五十鈴川の堆積土砂掘削を行うもの。 施工箇所：伊勢市中村町 他地内 【別図参照】			
実施予定期間	令和3年度～令和6年度 (4年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3)  ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書き て記載	令和2年度	0m3		
	令和3年度	220m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和4年度	2,400m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和5年度	2,300m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和6年度	2,280m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	計	7,200m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	42,000	42,000	0
	令和4年度	53,700	53,700	0
	令和5年度	44,700	44,700	0
	令和6年度	20,000	20,000	0
	計	160,400	160,400	0
事業の必要性、 緊急性	・宮川水系宮川支川五十鈴川は伊勢市に位置し流路延長7km (県管理区間) の一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・五十鈴川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和元年度現在、河道内の土砂堆積量は7.2千m3であり、早期の流下能力 (断面) 確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和6年現在の堆積量は約2.3千m3である。			
浚渫目標	・令和3年度～令和6年度の4年間で、河川環境に配慮しつつ7.2千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標流下能力を確保する。			
河道の状態把握	五十鈴川では、中村水位観測所 (伊勢市中村町) において水位の常時観測が行われている。また、河川近傍の雨量観測所 (中村) から水防活動や濁水調整のためのデータを得ることができる。河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他  ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	・予定事業量 (発生土砂量) については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 ・掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 宮川水系朝川(一級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	宮川水系朝川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所(所在地))	三重県が管理する宮川水系朝川の堆積土砂掘削を行うもの。 施工箇所:伊勢市藤里町 他地内 【別図参照】			
実施予定期間	令和2年度～令和3年度(2年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位:m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書き て記載	令和2年度	100m3		第一種建設発生土 (礫質砂)SG
	令和3年度	10m3		
	令和4年度	0m3		第一種建設発生土 (礫質砂)SG
	令和5年度	0m3		第一種建設発生土 (礫質砂)SG
	令和6年度	0m3		第一種建設発生土 (礫質砂)SG
	計	110m3		
予定事業費 (単位:千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	1,000	1,000	0
	令和3年度	1,000	1,000	0
	令和4年度	0	0	0
	令和5年度	0	0	0
	令和6年度	0	0	0
	計	2,000	2,000	0
事業の必要性、 緊急性	・宮川水系勢田川支川朝川は伊勢市に位置し流路延長1.5kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・朝川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下(流下断面が阻害)されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和元年度現在、河道内の土砂堆積量は2千m3であり、早期の流下能力(断面)確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和5年現在の堆積量は約1.9千m3である。			
浚渫目標	・令和2年度～令和3年度の2年間で、河川環境に配慮しつつ110m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標流下能力を確保する。			
河道の状態把握	朝川では、宮裏橋危機管理型水位計(伊勢市藤里町)において水位の常時観測が行われている。また、河川近傍の雨量観測所(伊勢建設事務所)から水防活動や濁水調整のためのデータを得ることができる。河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	・予定事業量(発生土砂量)については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 ・掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 宮川水系勢田川 (一級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	宮川水系勢田川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	三重県が管理する宮川水系勢田川の堆積土砂掘削を行うもの。 施工箇所：伊勢市勢田町 他地内 【別図参照】			
実施予定期間	令和3年度～令和6年度 (4年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書き て記載	令和2年度	0m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和3年度	100m3		
	令和4年度	0m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和5年度	0m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和6年度	0m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	計	100m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	1,000	1,000	0
	令和4年度	0	0	0
	令和5年度	0	0	0
	令和6年度	0	0	0
	計	1,000	1,000	0
事業の必要性、 緊急性	・宮川水系勢田川は伊勢市に位置し流路延長6.9kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・勢田川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和元年度現在、河道内の土砂堆積量は2千m3であり、早期の流下能力 (断面) 確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和6年現在の堆積量は約1.9千m3である。			
浚渫目標	・令和3年度の1年間で、河川環境に配慮しつつ100m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標流下能力を確保する。			
河道の状態把握	勢田川では、巴橋危機管理型水位計 (伊勢市勢田町) において水位の常時観測が行われている。また、河川近傍の雨量観測所 (伊勢建設事務所) から水防活動や濁水調整のためのデータを得ることができる。河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	・予定事業量 (発生土砂量) については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 ・掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 宮川水系松下川 (一級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	宮川水系松下川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	三重県が管理する宮川水系松下川の堆積土砂掘削を行うもの。 施工箇所：伊勢市二見町 他地内 【別図参照】			
実施予定期間	令和2年度～令和3年度 (2年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書き て記載	令和2年度	100m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和3年度	10m3		
	令和4年度	0m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和5年度	0m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和6年度	0m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	計	110m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	1,000	1,000	0
	令和3年度	1,000	1,000	0
	令和4年度	0	0	0
	令和5年度	0	0	0
	令和6年度	0	0	0
	計	2,000	2,000	0
事業の必要性、 緊急性	・宮川水系五十鈴川派川支川松下川は伊勢市二見町に位置し流路延長0.7kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・松下川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和元年度現在、河道内の土砂堆積量は1千m3であり、早期の流下能力 (断面) 確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和6年現在の堆積量は約890m3である。			
浚渫目標	・令和2年度～令和3年度の2年間で、河川環境に配慮しつつ110m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標流下能力を確保する。			
河道の状態把握	松下川では、松下水位観測所 (伊勢市二見町松下) において水位の常時観測が行われている。また、河川近傍の雨量観測所 (松下) から水防活動や濁水調整のためのデータを得ることができる。河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	・予定事業量 (発生土砂量) については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 ・掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 宮川水系朝熊川 (一級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	宮川水系朝熊川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	三重県が管理する宮川水系朝熊川の堆積土砂掘削を行うもの。 施工箇所：伊勢市朝熊町 他地内 【別図参照】			
実施予定期間	令和2年度～令和6年度 (5年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書き て記載	令和2年度	500m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和3年度	10m3		
	令和4年度	500m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和5年度	1,300m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和6年度	1,390m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	計	3,700m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	5,000	5,000	0
	令和3年度	1,000	1,000	0
	令和4年度	5,300	5,300	0
	令和5年度	16,600	16,600	0
	令和6年度	20,000	20,000	0
	計	47,900	47,900	0
事業の必要性、 緊急性	・宮川水系五十鈴川支川朝熊川は伊勢市に位置し流路延長2.8kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・朝熊川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和元年度現在、河道内の土砂堆積量は6千m3であり、早期の流下能力 (断面) 確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和6年現在の堆積量は約3.7千m3である。			
浚渫目標	・令和2年度～令和6年度の5年間で、河川環境に配慮しつつ3.7千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標流下能力を確保する。			
河道の状態把握	朝熊川では、新朝熊川橋危機管理型水位計 (伊勢市朝熊町) において水位の常時観測が行われている。また、河川近傍の雨量観測所 (ケーブル川) から水防活動や濁水調整のためのデータを得ることができる。河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	・予定事業量 (発生土砂量) については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 ・掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 宮川水系汁谷川 (一級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	宮川水系汁谷川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	三重県が管理する宮川水系汁谷川の堆積土砂掘削を行うもの。 施工箇所：伊勢市小俣町元町 他地内 【別図参照】			
実施予定期間	令和3年度 (1年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書き て記載	令和2年度	0m3		
	令和3年度	10m3		
	令和4年度	0m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和5年度	0m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和6年度	0m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	計	10m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	1,000	1,000	0
	令和4年度	0	0	0
	令和5年度	0	0	0
	令和6年度	0	0	0
	計	1,000	1,000	0
事業の必要性、 緊急性	・宮川水系宮川支川汁谷川は伊勢市に位置し流路延長1.1km (県管理区間) の一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・汁谷川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和元年度現在、河道内の土砂堆積量は3千m3であり、早期の流下能力 (断面) 確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和6年現在の堆積量は約3.0千m3である。			
浚渫目標	・令和3年度の1年間で、河川環境に配慮しつつ10m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標流下能力を確保する。			
河道の状態把握	汁谷川では、宮古橋危機管理型水位計 (伊勢市小俣町) において水位の常時観測が行われている。また、河川近傍の雨量観測所 (岩出) から水防活動や濁水調整のためのデータを得ることができる。河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	・予定事業量 (発生土砂量) については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 ・掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 宮川水系横輪川 (一級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	宮川水系横輪川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	三重県が管理する宮川水系横輪川の堆積土砂掘削を行うもの。 施工箇所：伊勢市横輪町 他地内 【別図参照】			
実施予定期間	令和2年度～令和3年度 (2年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m <sup>3</sup> )  <small>※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m<sup>2</sup>)書き て記載</small>	令和2年度	100m <sup>3</sup>		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和3年度	200m <sup>3</sup>		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和4年度	0m <sup>3</sup>		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和5年度	0m <sup>3</sup>		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和6年度	0m <sup>3</sup>		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	計	300m <sup>3</sup>		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	1,000	1,000	0
	令和3年度	3,000	3,000	0
	令和4年度	0	0	0
	令和5年度	0	0	0
	令和6年度	0	0	0
	計	4,000	4,000	0
事業の必要性、 緊急性	<ul style="list-style-type: none"> <li>宮川水系宮川支川横輪川は伊勢市に位置し流路延長10.6kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。</li> <li>横輪川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。</li> <li>令和元年度現在、河道内の土砂堆積量は1千m<sup>3</sup>であり、早期の流下能力 (断面) 確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。</li> <li>令和6年現在の堆積量は約700m<sup>3</sup>である。</li> </ul>			
浚渫目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度～令和3年度の2年間で、河川環境に配慮しつつ300m<sup>3</sup>の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標流下能力を確保する。</li> </ul>			
河道の状態把握	横輪川では、下郷橋危機管理型水位計 (伊勢市矢持町) において水位の常時観測が行われている。また、河川近傍の雨量観測所 (矢持) から水防活動や濁水調整のためのデータを得ることができる。河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 <small>※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>予定事業量 (発生土砂量) については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。</li> <li>掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。</li> </ul>			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 宮川水系一之瀬川 (一級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	宮川水系一之瀬川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	三重県が管理する宮川水系一之瀬川の堆積土砂掘削を行うもの。 施工箇所：度会郡度会町日向 他地内 【別図参照】			
実施予定期間	令和2年度～令和6年度 (5年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3)  ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書き て記載	令和2年度	100m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和3年度	10m3		
	令和4年度	0m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和5年度	0m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和6年度	190m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	計	300m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	1,000	1,000	0
	令和3年度	1,000	1,000	0
	令和4年度	0	0	0
	令和5年度	0	0	0
	令和6年度	2,000	2,000	0
	計	4,000	4,000	0
事業の必要性、 緊急性	<ul style="list-style-type: none"> <li>宮川水系宮川支川一之瀬川は度会郡度会町に位置し流路延長16.4kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。</li> <li>一之瀬川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。</li> <li>令和元年度現在、河道内の土砂堆積量は4千m3であり、早期の流下能力 (断面) 確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。</li> <li>令和6年現在の堆積量は約3.9千m3である。</li> </ul>			
浚渫目標	令和2年度～令和6年度の5年間で、河川環境に配慮しつつ300m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標流下能力を確保する。			
河道の状態把握	一之瀬川では、川口水位観測書 (度会郡度会町川口) において水位の常時観測が行われている。また、河川近傍の雨量観測所 (川口) から水防活動や濁水調整のためのデータを得ることができる。河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	<ul style="list-style-type: none"> <li>予定事業量 (発生土砂量) については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。</li> <li>掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。</li> </ul>			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 宮川水系大内山川 (一級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	宮川水系大内山川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	三重県が管理する宮川水系大内山川の堆積土砂掘削を行うもの。 施工箇所：大紀町大内山地区内～阿曾地区内 【別図参照】			
実施予定期間	令和3年度～令和6年度 (4年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m <sup>3</sup> ) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m <sup>2</sup> )書き て記載	令和2年度	0m <sup>3</sup>		
	令和3年度	13,100m <sup>3</sup>		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和4年度	10,000m <sup>3</sup>		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和5年度	12,300m <sup>3</sup>		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和6年度	10,000m <sup>3</sup>		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	計	45,400m <sup>3</sup>		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	86,300	86,300	0
	令和4年度	44,000	44,000	0
	令和5年度	117,000	117,000	0
	令和6年度	110,000	110,000	0
	計	357,300	357,300	0
事業の必要性、 緊急性	・宮川水系大内山川は大紀町から大台町に位置し流路延長31kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・大内山川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下(流下断面が阻害)されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和3年度時点では、河道内の土砂堆積量は45.4千m <sup>3</sup> であり、早期の流下能力(断面)確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和6年現在の堆積量は約10千m <sup>3</sup> である。			
浚渫目標	・令和3年度～令和6年度の4年間で、河川環境に配慮しつつ45.4千m <sup>3</sup> の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標流下能力(740m <sup>3</sup> /s～1,200m <sup>3</sup> /s)を確保する。			
河道の状態把握	大内山川では、細野観測所(大紀町大内山)において水位の常時観測が行われている。また、同観測所において雨量も常時観測しており、水防活動や濁水調整のためのデータを得ることができる。河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、毎年、出水期前に1回と大雨や洪水等異常気象があった際に直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、年に1回程度の頻度で目視確認を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	・予定事業量(発生土砂量)については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 ・掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 宮川水系注連小路川 (一級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	宮川水系注連小路川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	三重県が管理する宮川水系注連小路川の堆積土砂掘削を行うもの。 施工箇所：大紀町柏野地内 【別図参照】			
実施予定期間	令和4年度 (1年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書き て記載	令和2年度	0m3		
	令和3年度	0m3		
	令和4年度	100m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和5年度	0m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和6年度	0m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	計	0m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	0	0	0
	令和4年度	1,000	1,000	0
	令和5年度	0	0	0
	令和6年度	0	0	0
	計	1,000	1,000	0
事業の必要性、 緊急性	・宮川水系注連小路川は大紀町柏野に位置し流路延長5.6kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・注連小路川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和4年度時点では、河道内の土砂堆積量は1百m3であり、早期の流下能力 (断面) 確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。			
浚渫目標	・令和4年度に、河川環境に配慮しつつ1百m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標流下能力を確保する。			
河道の状態把握	注連小路川では、合流河川大内山川の危機管理型水位計 (柏野大橋) において1回/日及び異常出水時水位の観測が行われている。また、河川近傍の雨量観測所 (細野) から水防活動や濁水調整のためのデータを得ることができる。河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、毎年、出水期前に1回と大雨や洪水等異常気象があった際に直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、年に1回程度の頻度で目視確認を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	・予定事業量 (発生土砂量) については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 ・掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 宮川水系藤川 (一級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	宮川水系藤川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	三重県が管理する宮川水系藤川の堆積土砂掘削を行うもの。 施工箇所：大紀町永会地内 【別図参照】			
実施予定期間	令和4年度 (1年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m <sup>3</sup> )  <small>※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m<sup>2</sup>) 書き て記載</small>	令和2年度	0m <sup>3</sup>		
	令和3年度	0m <sup>3</sup>		
	令和4年度	100m <sup>3</sup>		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和5年度	0m <sup>3</sup>		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和6年度	0m <sup>3</sup>		
	計	100m <sup>3</sup>		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	0	0	0
	令和4年度	1,000	1,000	0
	令和5年度	0	0	0
	令和6年度	0	0	0
	計	1,000	1,000	0
事業の必要性、 緊急性	<ul style="list-style-type: none"> <li>宮川水系藤川は大紀町から大台町に位置し流路延長12.4kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。</li> <li>藤川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。</li> <li>令和4年度時点では、河道内の土砂堆積量は100m<sup>3</sup>であり、早期の流下能力 (断面) 確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。</li> </ul>			
浚渫目標	令和4年度に、河川環境に配慮しつつ100m <sup>3</sup> の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標流下能力を確保する。			
河道の状態把握	藤川では、危機管理型水位計 (藤橋・久保橋) において1回/日及び異常出水時水位の観測が行われている。また、河川近傍の雨量観測所 (細野) から水防活動や濁水調整のためのデータを得ることができる。河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、毎年、出水期前に1回と大雨や洪水等異常気象があった際に直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、年に1回程度の頻度で目視確認を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 <small>※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>予定事業量 (発生土砂量) については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。</li> <li>掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。</li> </ul>			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 宮川水系三ヶ野川 (一級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	宮川水系三ヶ野川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	三重県が管理する宮川水系三ヶ野川の堆積土砂掘削を行うもの。 施工箇所：大紀町崎地内 【別図参照】			
実施予定期間	令和4年度～令和6年度 (3年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3)  ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書き て記載	令和2年度	0m3		
	令和3年度	0m3		
	令和4年度	2,500m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和5年度	1,400m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和6年度	1,100m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	計	5,000m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	0	0	0
	令和4年度	16,000	16,000	0
	令和5年度	10,000	10,000	0
	令和6年度	15,000	15,000	0
	計	41,000	41,000	0
事業の必要性、 緊急性	・宮川水系三ヶ野川は大紀町崎地内に位置し流路延長3.8kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・三ヶ野川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和4年度時点では、河道内の土砂堆積量は5千m3であり、早期の流下能力 (断面) 確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和6年現在の堆積量は約1.1千m3である。			
浚渫目標	・令和4年度～令和6年度の3年間で、河川環境に配慮しつつ5千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標流下能力 (190m3/s) を確保する。			
河道の状態把握	三ヶ野川では、危機管理型水位計 (細野橋) において1回/日及び異常出水時水位の観測が行われている。また、河川近傍の雨量観測所 (細野) から水防活動や濁水調整のためのデータを得ることができる。河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、毎年、出水期前に1回と大雨や洪水等異常気象があった際に直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、年に1回程度の頻度で目視確認を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他  ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・予定事業量 (発生土砂量) については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 ・掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 宮川水系唐子川 (一級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	宮川水系唐子川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	三重県が管理する宮川水系唐子川の堆積土砂掘削を行うもの。 施工箇所：大紀町大内山地内 【別図参照】			
実施予定期間	令和3年度～令和4年度 (2年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3)  ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書き て記載	令和2年度	0m3		
	令和3年度	2,000m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和4年度	250m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和5年度	0m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和6年度	0m3		
	計	2,250m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	13,700	13,700	0
	令和4年度	2,000	2,000	0
	令和5年度	0	0	0
	令和6年度	0	0	0
	計	15,700	15,700	0
事業の必要性、 緊急性	・宮川水系唐子川は大紀町大内山地内に位置し流路延長1.6kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・唐子川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和3年度時点では、河道内の土砂堆積量は2.25千m3であり、早期の流下能力 (断面) 確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。			
浚渫目標	・令和3年度～令和4年度の2年間で、河川環境に配慮しつつ2.25千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標流下能力(200m3/s)を確保する。			
河道の状態把握	唐子川では、危機管理型水位計 (宮前橋) において1回/日及び異常出水時水位の観測が行われている。また、河川近傍の雨量観測所 (細野) から水防活動や濁水調整のためのデータを得ることができる。河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、毎年、出水期前に1回と大雨や洪水等異常気象があった際に直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、年に1回程度の頻度で目視確認を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	・予定事業量 (発生土砂量) については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 ・掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 宮川水系梅ヶ谷川 (一級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	宮川水系梅ヶ谷川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	三重県が管理する宮川水系梅ヶ谷川の堆積土砂掘削を行うもの。 施工箇所：大紀町大内山地内 【別図参照】			
実施予定期間	令和4年度～令和5年度 (2年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書き て記載	令和2年度	0m3		
	令和3年度	0m3		
	令和4年度	200m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和5年度	1,300m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和6年度	0m3		
	計	1,700m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	0	0	0
	令和4年度	4,000	4,000	0
	令和5年度	10,000	10,000	0
	令和6年度	0	0	0
	計	14,000	14,000	0
事業の必要性、 緊急性	・宮川水系梅ヶ谷川は大紀町大内山地内に位置し流路延長2.8kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・梅ヶ谷川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和4年度時点では、河道内の土砂堆積量は1.7千m3であり、早期の流下能力 (断面) 確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。			
浚渫目標	・令和4年度～令和5年度に、河川環境に配慮しつつ1.7千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標流下能力(110m3/s)を確保する。			
河道の状態把握	梅ヶ谷川では、危機管理型水位計 (宮本橋) において1回/日及び異常出水時水位の観測が行われている。また、河川近傍の雨量観測所 (細野) から水防活動や濁水調整のためのデータを得ることができる。河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、毎年、出水期前に1回と大雨や洪水等異常気象があった際に直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、年に1回程度の頻度で目視確認を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	・予定事業量 (発生土砂量) については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 ・掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 江川水系江川(二級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	江川水系江川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所(所在地))	三重県が管理する江川水系江川の堆積土砂掘削を行うもの。 施工箇所: 伊勢市有滝町 他地内 【別図参照】			
実施予定期間	令和2年度～令和3年度(2年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位:m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書き て記載	令和2年度	100m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和3年度	10m3		
	令和4年度	0m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和5年度	0m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和6年度	0m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	計	110m3		
予定事業費 (単位:千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	1,000	1,000	0
	令和3年度	1,000	1,000	0
	令和4年度	0	0	0
	令和5年度	0	0	0
	令和6年度	0	0	0
	計	2,000	2,000	0
事業の必要性、 緊急性	・江川水系江川は伊勢市に位置し流路延長2.7kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・江川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下(流下断面が阻害)されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和元年度現在、河道内の土砂堆積量は1千m3であり、早期の流下能力(断面)確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和6年現在の堆積量は約890m3である。			
浚渫目標	・令和2年度～令和3年度の2年間で、河川環境に配慮しつつ110m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標流下能力を確保する。			
河道の状態把握	江川では、江川橋危機管理型水位計(伊勢市有滝町)において水位の常時観測が行われている。また、河川近傍の雨量観測所(西豊浜)から水防活動や濁水調整のためのデータを得ることができる。河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	・予定事業量(発生土砂量)については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 ・掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 大堀川水系大堀川 (二級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	大堀川水系大堀川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	三重県が管理する大堀川水系大堀川の堆積土砂掘削を行うもの。 施工箇所：伊勢市柏町 他地内 【別図参照】			
実施予定期間	令和6年度 (1年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書き て記載	令和2年度	0m3		
	令和3年度	0m3		
	令和4年度	0m3		
	令和5年度	0m3		
	令和6年度	300m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	計	300m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	0	0	0
	令和4年度	0	0	0
	令和5年度	0	0	0
	令和6年度	3,000	3,000	0
	計	3,000	3,000	0
事業の必要性、 緊急性	・大堀川水系大堀川は伊勢市と明和町に位置し流路延長4.1kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・大堀川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和元年度現在、河道内の土砂堆積量は14千m3であり、早期の流下能力 (断面) 確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和6年現在の堆積量は約14.0千m3である。			
浚渫目標	・令和6年度の1年間で、河川環境に配慮しつつ300m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標流下能力を確保する。			
河道の状態把握	大堀川では、大堀川新橋水位観測所 (伊勢市柏町) において水位の常時観測が行われている。また、河川近傍の雨量観測所 (大堀川新橋) から水防活動や濁水調整のためのデータを得ることができる。河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	・予定事業量 (発生土砂量) については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 ・掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添 1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 三重県 又は 市区町村名		
		河川名 神津佐川水系神津佐川 (二級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	神津佐川水系神津佐川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	三重県が管理する神津佐川水系神津佐川の堆積土砂掘削を行うもの。 施工箇所：南伊勢町神津佐地内 【別図参照】			
実施予定期間	令和2年度 (1年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3) <small>※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書き て記載</small>	令和2年度	100m3		
	令和3年度	0m3		
	令和4年度	0m3		
	令和5年度	0m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和6年度	0m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	計	100m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	1,000	1,000	0
	令和3年度	0	0	0
	令和4年度	0	0	0
	令和5年度	0	0	0
	令和6年度	0	0	0
	計	1,000	1,000	0
事業の必要性、 緊急性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神津佐川水系神津佐川は南伊勢町神津佐に位置し流路延長1.4kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。</li> <li>・神津佐川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。</li> <li>・令和2年度時点では、河道内の土砂堆積量は100m3であり、早期の流下能力 (断面) 確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。</li> </ul>			
浚渫目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度に、河川環境に配慮しつつ100m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標流下能力を確保する。</li> </ul>			
河道の状態把握	神津佐川では、危機管理型水位計 (井柄橋) において1回/日及び異常出水時水位の観測が行われている。また、河川近傍の雨量観測所 (下津浦) から水防活動や濁水調整のためのデータを得ることができる。河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、毎年、出水期前に1回と大雨や洪水等異常気象があった際に直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、年に1回程度の頻度で目視確認を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 <small>※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予定事業量 (発生土砂量) については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。</li> <li>・掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。</li> </ul>			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 五ヶ所川水系五ヶ所川(二級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	五ヶ所川水系五ヶ所川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所(所在地))	三重県が管理する五ヶ所川水系五ヶ所川の堆積土砂掘削を行うもの。 施工箇所：南伊勢町五ヶ所浦地内～切原地内 【別図参照】			
実施予定期間	令和4年度～令和5年度(2年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位:m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書き て記載	令和2年度	0m3		
	令和3年度	0m3		
	令和4年度	100m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和5年度	125m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和6年度	0m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	計	225m3		
予定事業費 (単位:千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	0	0	0
	令和4年度	1,000	1,000	0
	令和5年度	2,300	2,300	0
	令和6年度	0	0	0
	計	3,300	3,300	0
事業の必要性、 緊急性	・五ヶ所川水系五ヶ所川は南伊勢町五ヶ所浦～切原に位置し流路延長2.9kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・五ヶ所川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下(流下断面が阻害)されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和4年度現在、河道内の土砂堆積量は2.25百m3であり、早期の流下能力(断面)確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。			
浚渫目標	・令和4年度～令和5年度で、河川環境に配慮しつつ2.25百m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標流下能力を確保する。			
河道の状態把握	五ヶ所川では、危機管理型水位計(愛洲橋)において1回/日及び異常出水時水位の観測が行われている。また、河川近傍の雨量観測所(下津浦・南伊勢)から水防活動や治水調整のためのデータを得ることができる。河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、毎年、出水期前に1回と大雨や洪水等異常気象があった際に直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、年に1回程度の頻度で目視確認を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	・予定事業量(発生土砂量)については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 ・掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 伊勢路川水系伊勢路川(二級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	伊勢路川水系伊勢路川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所(所在地))	三重県が管理する伊勢路川水系伊勢路川の堆積土砂掘削を行うもの。 施工箇所：南伊勢町伊勢路地内 【別図参照】			
実施予定期間	令和4年度～令和6年度(3年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位:m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書き て記載	令和2年度	0m3		
	令和3年度	0m3		
	令和4年度	1,000m3		第一種建設発生土 (砂)S
	令和5年度	0m3		第一種建設発生土 (砂)S
	令和6年度	1,000m3		
	計	2,000m3		
予定事業費 (単位:千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	0	0	0
	令和4年度	6,000	6,000	0
	令和5年度	0	0	0
	令和6年度	9,000	9,000	0
	計	15,000	15,000	0
事業の必要性、 緊急性	・伊勢路川水系伊勢路川は南伊勢町伊勢路に位置し流路延長6.2kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・伊勢路川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下(流下断面が阻害)されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和4年度時点では、河道内の土砂堆積量は2千m3であり、早期の流下能力(断面)確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和6年現在の堆積量は約1千m3である。			
浚渫目標	・令和4年度～令和6年度に、河川環境に配慮しつつ2千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標流下能力を確保する。			
河道の状態把握	伊勢路川では、伊勢路観測所(南伊勢町伊勢路)において水位の常時観測が行われている。また、同観測所において雨量も常時観測しており、水防活動や治水調整のためのデータを得ることができる。河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、毎年、出水期前に1回と大雨や洪水等異常気象があった際に直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、年に1回程度の頻度で目視確認を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	・予定事業量(発生土砂量)については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 ・掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 伊勢路川水系押渕川 (二級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	伊勢路川水系押渕川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	三重県が管理する伊勢路川水系押渕川の堆積土砂掘削を行うもの。 施工箇所：南伊勢町押渕地内 【別図参照】			
実施予定期間	令和4年度 (1年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書き て記載	令和2年度	0m3		
	令和3年度	0m3		
	令和4年度	200m3		第一種建設発生土 (砂) S
	令和5年度	0m3		第一種建設発生土 (砂) S
	令和6年度	0m3		
	計	200m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	0	0	0
	令和4年度	1,000	1,000	0
	令和5年度	0	0	0
	令和6年度	0	0	0
	計	1,000	1,000	0
事業の必要性、 緊急性	・伊勢路川水系押渕川は南伊勢町押渕に位置し流路延長6.2kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・押渕川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和4年度時点では、河道内の土砂堆積量は200m3であり、早期の流下能力 (断面) 確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。			
浚渫目標	・令和4年度に、河川環境に配慮しつつ200m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標流下能力を確保する。			
河道の状態把握	押渕川では、押渕観測所 (南伊勢町押渕) において水位の常時観測が行われている。また、同観測所において雨量も常時観測しており、水防活動や濁水調整のためのデータを得ることができる。河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、毎年、出水期前に1回と大雨や洪水等異常気象があった際に直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、年に1回程度の頻度で目視確認を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	・予定事業量 (発生土砂量) については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 ・掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 伊勢路川水系内瀬川 (二級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	伊勢路川水系内瀬川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	三重県が管理する伊勢路川水系内瀬川の堆積土砂掘削を行うもの。 施工箇所：南伊勢町内瀬川内 【別図参照】			
実施予定期間	令和4年度 (1年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書き て記載	令和2年度	0m3		
	令和3年度	0m3		
	令和4年度	1000m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和5年度	0m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和6年度	0m3		
	計	1,000m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	0	0	0
	令和4年度	3,000	3,000	0
	令和5年度	0	0	0
	令和6年度	0	0	0
	計	3,000	3,000	0
事業の必要性、 緊急性	・伊勢路川水系内瀬川は南伊勢町内瀬川に位置し流路延長0.3kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・内瀬川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和4年度時点では、河道内の土砂堆積量は1千m3であり、早期の流下能力 (断面) 確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。			
浚渫目標	・令和4年度に、河川環境に配慮しつつ1千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標流下能力を確保する。			
河道の状態把握	内瀬川では、合流河川伊勢路川の伊勢路観測所 (南伊勢町伊勢路) 及び近傍の押淵観測所 (南伊勢町押淵) において水位の常時観測が行われている。また、同観測所において雨量も常時観測しており、水防活動や渇水調整のためのデータを得ることができる。河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、毎年、出水期前に1回と大雨や洪水等異常気象があった際に直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、年に1回程度の頻度で目視確認を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	・予定事業量 (発生土砂量) については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 ・掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 伊勢路川水系始神川 (二級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	伊勢路川水系始神川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	三重県が管理する伊勢路川水系始神川の堆積土砂掘削を行うもの。 施工箇所：南伊勢町始神地内 【別図参照】			
実施予定期間	令和4年度 (1年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書き て記載	令和2年度	0m3		
	令和3年度	0m3		
	令和4年度	100m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和5年度	0m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和6年度	0m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	計	100m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	0	0	0
	令和4年度	1,000	1,000	0
	令和5年度	0	0	0
	令和6年度	0	0	0
	計	1,000	1,000	0
事業の必要性、 緊急性	・伊勢路川水系始神川は南伊勢町始神に位置し流路延長1.5kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・始神川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和4年度時点では、河道内の土砂堆積量は1百m3であり、早期の流下能力 (断面) 確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。			
浚渫目標	・令和4年度に、河川環境に配慮しつつ1百m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標流下能力を確保する。			
河道の状態把握	始神川では、合流河川押淵川の押淵観測所 (南伊勢町押淵) において水位の常時観測が行われている。また、同観測所において雨量も常時観測しており、水防活動や濁水調整のためのデータを得ることができる。河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、毎年、出水期前に1回と大雨や洪水等異常気象があった際に直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、年に1回程度の頻度で目視確認を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	・予定事業量 (発生土砂量) については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 ・掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 中ノ谷川水系中ノ谷川(二級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	中ノ谷川水系中の谷川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所(所在地))	三重県が管理する中の谷川水系中の谷川の堆積土砂掘削を行うもの。 施工箇所: 南伊勢町船越地内 【別図参照】			
実施予定期間	令和2年度(1年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位:m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書き て記載	令和2年度	500m3		第一種建設発生土 (砂)S
	令和3年度	0m3		
	令和4年度	0m3		
	令和5年度	0m3		
	令和6年度	0m3		
	計	500m3		
予定事業費 (単位:千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	4,000	4,000	0
	令和3年度	0	0	0
	令和4年度	0	0	0
	令和5年度	0	0	0
	令和6年度	0	0	0
	計	4,000	4,000	0
事業の必要性、 緊急性	・中ノ谷川水系中ノ谷川は南伊勢町船越に位置し流路延長0.5kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・中ノ谷川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下(流下断面が阻害)されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和2年度時点では、河道内の土砂堆積量は500m3であり、早期の流下能力(断面)確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。			
浚渫目標	・令和2年度に、河川環境に配慮しつつ500m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標流下能力を確保する。			
河道の状態把握	中ノ谷川では、危機管理型水位計(中の橋)において1回/日及び異常出水時水位の観測が行われている。また、河川近傍の雨量観測所(伊勢路)から水防活動や濁水調整のためのデータを得ることができる。河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、毎年、出水期前に1回と大雨や洪水等異常気象があった際に直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、年に1回程度の頻度で目視確認を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	・予定事業量(発生土砂量)については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 ・掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添 1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 大江川水系大江川 (二級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	大江川水系大江川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	三重県が管理する大江川水系大江川の堆積土砂掘削を行うもの。 施工箇所：南伊勢町大江地内 【別図参照】			
実施予定期間	令和4年度 (1年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書き て記載	令和2年度	0m3		
	令和3年度	0m3		
	令和4年度	100m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和5年度	0m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和6年度	0m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	計	100m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	0	0	0
	令和4年度	1,000	1,000	0
	令和5年度	0	0	0
	令和6年度	0	0	0
	計	1,000	1,000	0
事業の必要性、 緊急性	・大江川水系大江川は南伊勢町大江に位置し流路延長2.2kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・大江川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和4年度時点では、河道内の土砂堆積量は100m3であり、早期の流下能力 (断面) 確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。			
浚渫目標	・令和4年度に、河川環境に配慮しつつ100m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標流下能力を確保する。			
河道の状態把握	大江川では、危機管理型水位計 (大江新橋) において1回/日及び異常出水時水位の観測が行われている。また、河川近傍の雨量観測所 (南島) から水防活動や濁水調整のためのデータを得ることができる。河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、毎年、出水期前に1回と大雨や洪水等異常気象があった際に直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、年に1回程度の頻度で目視確認を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	・予定事業量 (発生土砂量) については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 ・掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添 1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 三重県 又は 市区町村名		
		河川名 村山川水系村山川 (二級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	村山川水系村山川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	三重県が管理する村山川水系村山川の堆積土砂掘削を行うもの。 施工箇所：南伊勢町村山地区内 【別図参照】			
実施予定期間	令和4年度 (1年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m <sup>3</sup> ) <small>※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m<sup>2</sup>) 書き て記載</small>	令和2年度	0m <sup>3</sup>		
	令和3年度	0m <sup>3</sup>		
	令和4年度	100m <sup>3</sup>		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和5年度	0m <sup>3</sup>		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和6年度	0m <sup>3</sup>		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	計	100m <sup>3</sup>		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	0	0	0
	令和4年度	1,000	1,000	0
	令和5年度	0	0	0
	令和6年度	0	0	0
	計	1,000	1,000	0
事業の必要性、 緊急性	<ul style="list-style-type: none"> <li>村山川水系村山川は南伊勢町村山に位置し流路延長5.1kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。</li> <li>村山川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。</li> <li>令和4年度時点での、河道内の土砂堆積量は1千m<sup>3</sup>であり、早期の流下能力 (断面) 確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。</li> </ul>			
浚渫目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度に、河川環境に配慮しつつ1千m<sup>3</sup>の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標流下能力を確保する。</li> </ul>			
河道の状態把握	村山川では、危機管理型水位計 (村山橋) において1回/日及び異常出水時水位の観測が行われている。また、河川近傍の雨量観測所 (南島) から水防活動や濁水調整のためのデータを得ることができる。河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、毎年、出水期前に1回と大雨や洪水等異常気象があった際に直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、年に1回程度の頻度で目視確認を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 <small>※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>予定事業量 (発生土砂量) については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。</li> <li>掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。</li> </ul>			

(別添 1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 三重県 又は 市区町村名		
		河川名 小方川水系小方川 (二級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	小方川水系小方川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	三重県が管理する小方川水系小方川の堆積土砂掘削を行うもの。 施工箇所：南伊勢町小方竈地内 【別図参照】			
実施予定期間	令和2年度～令和4年度 (3年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m <sup>3</sup> ) <small>※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m<sup>2</sup>)書き て記載</small>	令和2年度	500m <sup>3</sup>		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和3年度	0m <sup>3</sup>		
	令和4年度	100m <sup>3</sup>		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和5年度	0m <sup>3</sup>		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和6年度	0m <sup>3</sup>		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	計	600m <sup>3</sup>		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	6,000	6,000	0
	令和3年度	0	0	0
	令和4年度	1,000	1,000	0
	令和5年度	0	0	0
	令和6年度	0	0	0
	計	7,000	7,000	0
事業の必要性、 緊急性	<ul style="list-style-type: none"> <li>小方川水系小方川は南伊勢町小方竈に位置し流路延長2.0kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。</li> <li>小方川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。</li> <li>令和2年度時点では、河道内の土砂堆積量は600m<sup>3</sup>であり、早期の流下能力 (断面) 確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。</li> </ul>			
浚渫目標	令和2年度～令和4年度で、河川環境に配慮しつつ600m <sup>3</sup> の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標流下能力を確保する。			
河道の状態把握	小方川では、危機管理型水位計 (旭橋) において1回/日及び異常出水時水位の観測が行われている。また、河川近傍の雨量観測所 (古和浦) から水防活動や濁水調整のためのデータを得ることができる。河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、毎年、出水期前に1回と大雨や洪水等異常気象があった際に直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、年に1回程度の頻度で目視確認を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 <small>※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>予定事業量 (発生土砂量) については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。</li> <li>掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。</li> </ul>			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 古和川水系古和川 (二級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	古和川水系古和川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	三重県が管理する古和川水系古和川の堆積土砂掘削を行うもの。 施工箇所：南伊勢町古和浦地内～納戸地地内 【別図参照】			
実施予定期間	令和4年度 (1年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書き て記載	令和2年度	0m3		
	令和3年度	0m3		
	令和4年度	100m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和5年度	0m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	令和6年度	0m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	計	100m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	0	0	0
	令和4年度	1,000	1,000	0
	令和5年度	0	0	0
	令和6年度	0	0	0
	計	1,000	1,000	0
事業の必要性、 緊急性	・古和川水系古和川は南伊勢町古和浦～納戸地に位置し流路延長3.5kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・古和川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和4年度時点では、河道内の土砂堆積量は100m3であり、早期の流下能力 (断面) 確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。			
浚渫目標	・令和4年度に、河川環境に配慮しつつ100m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標流下能力を確保する。			
河道の状態把握	古和川では、危機管理型水位計 (二重目橋) において1回/日及び異常出水時水位の観測が行われている。また、雨量観測所 (古和浦) から水防活動や濁水調整のためのデータを得ることができる。河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、毎年、出水期前に1回と大雨や洪水等異常気象があった際に直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、年に1回程度の頻度で目視確認を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	・予定事業量 (発生土砂量) については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 ・掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 三重県 又は 市区町村名		
		河川名 奥川水系奥川 (二級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	奥川水系奥川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	三重県が管理する奥川水系奥川の堆積土砂掘削等を行うもの。 施工箇所：大紀町錦地内 【別図参照】			
実施予定期間	令和5年度～令和6年度 (2年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書き て記載	令和2年度	0m3		
	令和3年度	0m3		
	令和4年度	0m3		
	令和5年度	100m2		樹木伐採
	令和6年度	100m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	計	100m3		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	0	0	0
	令和4年度	0	0	0
	令和5年度	2,000	2,000	0
	令和6年度	1,000	1,000	0
	計	3,000	3,000	0
事業の必要性、 緊急性	・奥川水系奥川は大紀町錦に位置する流路延長1.8kmの二級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・奥川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) しており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和5年度時点では、河道内の土砂堆積量は100m3であり、早期の流下能力 (断面) 確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和6年現在の堆積量は約100m3である。			
浚渫目標	・令和5年度～令和6年度で、河川環境に配慮しつつ100m3の堆積土砂掘削等を行い、河道における一連の目標流下能力を確保する。			
河道の状態把握	奥川では、危機管理型水位計 (新奥川橋) において1回/日及び異常出水時水位の観測が行われている。河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、毎年、出水期前に1回と大雨や洪水等異常気象があった際に直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、年に1回程度の頻度で目視確認を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	・予定事業量 (発生土砂量) については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 ・掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			

(別添1)

令和6年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 又は 市区町村名		
		三重県		
		河川名 宮川水系松尻川 (一級河川)		
		担当課室名 河川課 河川管理班		
		連絡先 059-224-2686		
事業名	宮川水系松尻川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (浚渫箇所 (所在地))	三重県が管理する宮川水系松尻川の堆積土砂掘削等を行うもの。 施工箇所：伊勢市船江 他地内 【別図参照】			
実施予定期間	令和5年度 (1年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位：m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、(m2)書き て記載	令和2年度	0m3		
	令和3年度	0m3		
	令和4年度	0m3		
	令和5年度	100m2		樹木伐採
	令和6年度	0m3		第一種建設発生土 (礫質砂) SG
	計	0m3, (100m2)		
予定事業費 (単位：千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	0	0	0
	令和3年度	0	0	0
	令和4年度	0	0	0
	令和5年度	1,000	1,000	0
	令和6年度	0	0	0
	計	1,000	1,000	0
事業の必要性、 緊急性	・宮川水系松尻川は伊勢市に位置し流路延長1.7kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・松尻川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和5年度現在、河道内の土砂堆積量は500m3であり、早期の流下能力 (断面) 確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 ・令和6年現在の堆積量は約500m3である。			
浚渫目標	・令和5年度の1年間で、河川環境に配慮しつつ0m3, (100m2)の堆積土砂掘削等を行い、河道における一連の目標流下能力を確保する。			
河道の状態把握	松尻川では、船江水位観測書 (伊勢市船江) において水位の常時観測が行われている。また、河川近傍の雨量観測所 (県伊勢庁舎) から水防活動や治水調整のためのデータを得ることができる。河川管理施設の異常等の把握については、定期的に年1回のパトロールを外部コンサルタントに委託して実施する他、大雨や洪水等異常気象があった際には、随時、直営によるパトロールを実施している。堆積土砂等の状態把握については、3年に1回程度の頻度で目視又は簡易測量を行い、適切な維持管理に繋げている。			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持 管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記 載	・予定事業量 (発生土砂量) については現時点での予定であり、今後の出水等の影響により変更となり得る。 ・掘削した土砂等については、公共事業間での有効活用を優先して図る。			